

広報

あいそめ

AISOME

第5号

平成 25年 1月



絵：本井睦英

自主

自分のものとして考える

自立

自分の力で育てる

共働

一緒になって働く

共助

お互いに助け合う



公益社団法人

西都市シルバー人材センター

〒 881-0033 宮崎県西都市大字妻 1621 番地 (あいそめ館内)

電話 (0983) 43-0171 FAX (0983) 43-5801

新年のごあいさつ



理事長
丸山 美木生

新年にあたり会員のみなさま方におかれては、平成25年の輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりおよろこびを申し上げます。

ところで当センターもご承知のとおり公益法人へ移行がなされ事務的、又運営上厳しい一面もありましたが、今日まで大過なく進行している状況であります。これも会員各位の御理解、御協力のたまものであり感謝を申し上げます。

又、国においては、内外的にもいろいろとその政治の方向が何処に決着がなされるのか憂慮すべき状況であります。そういう観点から本年が少しでも穏

やかな一年でありますよう願っている次第です。

当センターにおきましても更に会員のみなさま方の就業機会の開拓はもちろん適正就業及び安全対策を含め円滑な運営のために役職員一同積極的に取り組んで行く所存であります。

最後にみなさま方、御家族共々御多幸でありますよう心よりお祈りし御挨拶いたします。



謹賀新年

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	常務理事	副理事長	理事長
木國夫	本井睦英	羽田サツ子	日高恒雄	黒木公夫	新名福美	川上博	安藤次男	甲斐栄次	深美正次	中園洋子	丸山美木生		



市長あいさつ



西都市長

橋田 和実



新年あけましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに平成25年の初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃からシルバー人材センター事業の充実・発展に格別のご理解・ご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、古事記編纂1300年、伊東満所(マンシヨ)没後400年という節目であり記念事業や式典、市民創作劇などが行われました。また、本市とゆかりのある西海市と姉妹都市盟約を締結できましたことは、この上ない喜びであり、これから、両市の振興・発展に向け、各種交流や事業

を行ってまいりたいと考えております。

そして、全国和牛能力共進会で連続日本一を獲得し、口蹄疫からの再生・復興を目指す畜産農家だけでなく、多くの市民に、感動と勇気を与えた年でもありました。

本年は、西都市が誕生しまして、55年目を迎えますが、「元氣な日本のふるさと西都」に向けて、雇用の創出や地域活性化を図りながら、積極的に事業を展開してまいりますので、今後とも皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

さて、我が国の社会経済情勢は、景気低迷や雇用状況の悪化が継続しており、特に、高齢者の雇用就業環境に大きく影響が出ております。

このような中、本市におきましても高齢化率30パーセントを超え、少子高齢化が進む中で、高齢者に対する多様な就業機会の提供を行うための環境整備を図ることが求められており、シルバー人材センターは、まさに、高齢者雇用対策の大きな柱となっております。

本市の高齢者対策といたしましては、生きがいづくり・健康づくりの推進に努めており、昨年10月からは、敬老バス事業を開始したところですが、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加し、社会の担い手として活躍できるシルバー人材センターの役割はますます重要となっており、ますますの、本市といたしまして、今後とも可能な限りの支援を行って参りたいと考えております。

最後になりますが、西都市シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

安全委員長

甲斐 栄次

今年も良い年でありますように願うところであります。西都市シルバー人材センター事業の受注拡大として私達会員は、地域社会に貢献し、シルバー人材センターの理念である自主・自立の精神のもとで努力が必要となります。

高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援の要請国の補助金予算額は、2度の行政刷新会議の「事業仕分け」による3分の1という大幅削減に伴い事業運営は苦境に陥り、中には解散せざるを得ないとするセンターもあり、危機的な状況にあると言われています。

平成24年度は、理事長・事務局始め、役員が市長さんにお会いし、以上のような国の補助金予算額の支援要請、補助金の確保や公共事業の発注をお願いしてきました。補助金の拡大等を期待するところです。

◎楽しんでいきます。

長友正安

私はグランドゴルフを楽しんでいるひとりです。週2回の練習、国・県・市・協会・支部主催の大会に、年に10数回参加しております。練習、大会場所は河川敷か、公園、多目的グラウンドが主で開催されております。

空気は美味しく、景色は良く、ゲーム中の会話は楽しく、これで健康にならない訳がありません。最年長者は百歳になられる方もおられ、足の不自由な人、痛い人様々ですが皆で助け合いながら楽しんでおります。

健康は心身共に健康でなくてはならないと思います。



温かい言葉を

かけてほしい

大園ヒロ子

私はシルバー人材センターに入り仕事が出来る事が、とても楽しいと思いがながら生きております。

昨年、世の中では絆という言葉が流行しました。だけど私を感じるかぎりシルバーにはその言葉を感じさせてくれない人が何人かおります。とても悲しい事です。それも女の人ですが時には職場まで見に来ます。

私達は2ヶ所仕事をしておる関係で食事時間のずれも出てきます。私達が休んでいる時、何度かその人に会いました。

ある日2時10分前に休んでいた時「あなた達は今昼ごはんね」と言われたので2時になろうとしている時

に、「そんな馬鹿なあなたは何者ですか貴女に許可をもらわなければいけないなんて貴女は役職をしている人ですか」と私は言いました。私達の事情を話せばよかったです。私としては「暑いからお互いに身体に気を付けて頑張りましょう」とそんな言葉がほしかった。



◎日々に思う

日高恒雄

毎年行われる旅行が、24年度も10月18日、19日の日程で行われました。多くの方々の参加で、日頃は日常の生活に追われ、旅行など出来ないのも楽しい思い出になりました。

桜島からフェリーに乗り青い海を見ていたら、しみじみと思い出す事がありました。今から40数年前、なぜそうなったか忘れましたが僕は新婚旅行のつもりでしたが、兄夫婦と一緒にいきたいというので、姉さんも一緒に鹿児島に行き、叔母さんの所に一泊お世話になりました。

光陰矢のごとしで今は亡き人のことを思い出し、世の無情をむなしく思いました。人生って何だろうと。いつの間にか歳月は流れ、これから先どうなるのだろうかと思う時、限りある時間を、一人でも多くの方々と日々、大事に過ごしたいと思います。



◎「休む」勇氣を持つとう!

雲山博仁

2009年に、当センターに入会して今年で4年目を迎えました。当初は不慣れによる転倒事故で、頸椎を損傷するなど周りの方に多大な心配と迷惑をおかけしました。

最近、仕事も少しずつ慣れて、民間の仕事や農作業にも従事していますが、それでも途中で体調をくずして休んだり、仕事を断けたりしました。幸い相手様も好意的に受けとめていただき、ほっとした次第です。

今年から70代後半!今までのように無理をせず、気分がすぐれない時は勇氣を持って休む決断が必要ではないでしょうか。

今年はこのことを念頭において行動したいと思います。

最後に今年こそ皆様にとつて平安で息災な年でありますよう祈念します。



◎新年への思い

日 高 敦

自主・自立・共働・共助、これに書き加えて共笑にしてはどうでしょうか。若い頃、女性と一緒に仕事をしていた頃のことです。一日中、人の悪口を言い通しで、私が叱ったこともありました。共働・共助の精神がお互いに笑いにつながり仕事を楽しくなると思います。

シルバーで一番大切なことは公平な就業・安正就業・地域社会に貢献していくことではないでしょうか。そのためには会員が1件でも多く受注することが一番だと思います。

どうか宮崎県一の西都市シルバー人材センターになれるようお互いが心を合わせよい仕事が出来ますようお祈りします。

標語

行き帰りひそむ危険に 気を付けて



◎ひとりの日々

上米良 幸子

誕生日嬉しくもあり淋しくもあり

誕生日にお祝いの品物等を頂くのは嬉しいことであるが、後わずかな人生だと思おうと淋しくなってくる。

正月や孫に囲まれ長談義

正月にはみんなが集まりそれぞれの話に夢中になる。私も仲間に入り、昔の生活の様子などを話すとつい話が長くなってくる。

何でもやれると思いきや力なくして成功せず

ライターの火さえも付けられず家族の者に灯りをつけてもらう今日この頃。

留守番や写真に向かって語りかけ

一日中一人でいると何となく写真に向かって語りかけたい気持ちになる。

独り居て考え込むこと多くなりこれも呆けの始まりかなと…

ボケてはいけなさと強く思う。

◎安全への誓い

甲斐栄次

平成25年度の目標として、事故ゼロをめざしていきましょう。

平成24年度は事故が6件発生し、大変痛々しい事故もありました。本人のみならず家族・発注者やセンターに多大な迷惑を掛けました。一寸した不注意や油断が大事につながります。会員の皆さん西都市シルバー人材センターの安全義務を守って下さい。

① ヘルメット・保護帽・安全帯の着用

② 会報誌「安全就業だより」による安全意識啓発、安全就業の呼びかけ運動

③ 安全就業のニュースの活用・全シ協のニュース等読み聞かせ運動

以上のようなことを守り注意して行きましょう。



ヘルメット付けて作業



質問

年男

中武清雄

昭和4年生
(小中学校の環境整備に従事)

- ① 早寝・早起き。昔から早寝・早起きの家であったのでその習慣が残っているかもしれません。
- ② 別にありますませんが、山の仕事(造林)が好きです。
- ③ 仕事は急がずゆっくりと。
- ④ 役員の方々から良くしてもらっています。

年女

川崎幸子

昭和4年生
(庁舎内清掃作業に従事)

- ① 決まった時間には必ず起床しています。朝食にはみそ汁と梅干一個食べています。
- ② 毎日、新聞を読んでいます。
- ③ 何のとりえもありませんが、もうしばらく仕事をさせて下さい。お願いします。
- ④ シルバー人材センターに小屋の桶をお願いしました。きれいにしておいて下さって、後片付けまでして下さってうれしかったです。壁もきれいにしてくださいました。良いお正月が迎えられました。ありがとうございました。

今年に思う

原田律子

毎年体力が落ちて、寒さを感じるのが強くなる。皆に迷惑をかけない様に仏壇に祈る。シルバーで働かせてもらい日々元気でいられることに感謝。さあ今年一年頑張ろう。

俳句

原田律子

- 初もうでお寺参りで今年も明けける
- 今年もがんばろう毎年の事
- 年賀状あやまり気づく出した後
- 記憶落ち年を感じずる年の暮れ
- 朝起きて今日も元気だしあわせだ

俳句

木下久美子

- 新年の誓いあらたに初仕事

短歌

- 初春や御神酒つぎて夫は言う
今年こそは外傷けがのなきよう

- 電話あり孫の甘えに胸がドキドキ
新年の朝夫がにが笑い

- 亡き姉の墓前に誓うこの年は
夫婦仲良く健康第一



短歌

川崎幸子

- 初日の出災い根こそぎ吹きとばし
世界の人に微笑みを

短歌

監事 本井睦英

- 七十路の妻が我に言う
強くだきしめてほしいと
- いにしえのほのおの祭典ゆれている
コスモス戦き我が時を忘れ

俳句

- 青葉刈りほめてやりたい我が腕を

がんばる会員さん

- 平成24年10月26日
- 環境整備
- 参加者97名

西都原御陵墓周辺の奉仕作業

山田貞子

知らない者同士が聞いたり教えたりして和気合い合いとした雰囲気の中で行われて参加して良かったと思います。

田爪計次

大勢の参加でチームワークが良く取れていると思いました。

羽田サツ子

途中参加しかできませんでしたが、皆様のボランティア精神と事務局からは弁当の配布があり感謝しています。